

作業療法学専攻

A 欧 文

A-a

1. Sakai M, Tsujino A, Eguchi H, Sato K, Shirabe S, Tateishi Y, Sato A, Tsujihata M, Yoshimura T, Eguchi K: A single-nucleotide polymorphism of PARK2 affects the phenotype in sporadic parkinson disease. *Acta Medica Nagasakiensia* 54(3): 67-71, 2010.○
2. Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, Ida H, Masuda T, Fukuda T, Satoh K, Yoshimura T, Nakashima M, Hayashi T, Eguchi K: Rheumatoid vasculitis of crural muscles confirmed by muscle biopsy in the absence of inflammatory myopathy: histologic and MRI study. *Rheumatology International* 30(10): 1381-1383, 2010(IF:1.493) *
3. Higashijima M: Influence of Age and Bolus Size on Swallowing Function. *Am J Occup Ther* 61(1): 88-94, 2010(IF: 1.672) *
4. Iwai S, Senju H, Kaneda R, Iguchi A, Hayashi Y, Ozawa H, Honda S, Higashijima M: Personality traits of patients with chronic obstructive pulmonary disease who exhibit depression. *Journal of Physical Therapy Science* 22(2): 93-99, 2010(IF:0.271) *
5. Saito M, Iwata N, Kawakami N, Matsuyama Y: World Mental Health Japan 2002-2003 Collaborators, Ono Y, Nakane Y, Nakamura Y, Tachimori H, Uda H, Nakane H, Watanabe M, Naganuma Y, Furukawa TA, Hata Y, Kobayashi M, Miyake Y, Takeshima T, Kikkawa T: Evaluation of the DSM-IV and ICD-10 criteria for depressive disorders in a community population in Japan using item response theory. *Int J Methods Psychiatr Res* 19(4): 211-22, 2010 (IF:3.030) *
6. Koyama A, Miyake Y, Kawakami N, Tsuchiya M, Tachimori H, Takeshima T; World Mental Health Japan Survey Group, 2002-2006: Lifetime prevalence, psychiatric comorbidity and demographic correlates of "hikikomori" in a community population in Japan. *Psychiatry Res* 176(1): 69-74, 2010 (IF:2.373) *
7. Hanzawa S, Jeong-Kyu Bae, Tanaka H, Tanaka G, Yong Jun Bae, Goto M, Inadomi H, Nakane H, Ohta Y, Nakane Y: Personal stigma and coping strategies in families of patients with schizophrenia: Comparison between Japan and Korea. *Asia-Pac Psychiat* 2: 105-113, 2010 (IF:1.200) *
8. Hanzawa S, Jeong-Kyu Bae, Tanaka H, Yong Jun Bae, Tanaka G, Inadomi H, Nakane Y, Ohta Y: Caregiver burden and coping strategies for patients with schizophrenia; Comparison between Japan and Korea. *Psychiatry Clin Neurosci* 64: 377-386, 2010 (IF:1.326) *
9. Matsumura T, Tamura T, Kuru S, Kikuchi Y, Kawai M: Carvedilol can prevent cardiac events in Duchenne Muscular Dystrophy. *Intern Medicine* 49: 1357-1363, 2010(IF:1.037) *
10. Murata J, Murata S, Hiroshige J, Ohtao H, Horie J, Kai Y: The influence of age-related changes in tactile sensibility and muscular strength on hand function in older adult females. *International Journal of Gerontology* 4: 180-183, 2010 (IF:0.375) *

A-b

1. Masuda T, Motomura M, Nakata R, Tokuda M, Fukuda T, Eguchi K, Yoshimura T, Tsujihata M, Utsugisawa K: Antibodies against main immunogenic region(MIR) of the nicotinic acetylcholine receptor and ocular Myasthenia Gravis. *Acta Myol* 29: 215, 2010
2. Motomura M, Nakata R, Masuda T, Tokuda M, Eguchi K, Yoshimura T, Shiraishi H: MuSK-antibody positive Myasthenia Gravis and associated autoimmune diseases. *Acta Myol* 29: 216, 2010▽
3. Yoshimura T, Ito M, Honda Y, Fukudome T, Eric K, Okada N, Takeda S, Motomura M, Tsujino A, Masuda T, Fukuda T, Yoshimura S, Ohno K: Significance of fine structures in motor end-plate in mice with a collagenous sub-unit called Q(ColQ)-deficient mutant mice. *Acta Myol* 29: 218, 2010☆

B 邦 文

B-a

1. 田上裕記, 太田清人, 南谷さつき, 杉浦弘通, 鈴木 剛, 東嶋美佐子, 酒向俊治, 金田嘉清: 在宅高齢者における嚥下障害と生活時間構造の関連性. *日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌* 14(1): 3-10, 2010
2. 東嶋美佐子: 認知症疾患治療病棟での摂食機能療法の展開. *作業療法* 29(3): 345-351, 2010
3. 半澤節子, 佐藤勢津子, 谷田部佳代弥, 永井優子, 田中悟郎, 中根允文: 精神科看護師が評価する統合失調症事例の地域生活困難度の検討—個人的スティグマ認知との関連性をとおして—. *日本社会精神医学会雑誌* 19:187-198, 2010
4. 山上早苗, 川上京子, 山崎結城, 福田健一郎, 田中悟郎: 精神科病院長期入院患者への退院支援を目的とした小集団作業療法—退院患者とのふれあい活動の実践—. *作業療法* 29:95-104, 2010

5. 大部美咲, 山上早苗, 本村幸永, 山口清美, 田中悟郎: 長期入院統合失調症患者の退院に対する意識とその関連要因の分析. 作業療法29:183-194,2010
6. 岩永竜一郎, 松坂哲應, 本山和徳, 松崎淳子, 十枝はるか: 5歳児健診で発達障害児をスクリーニングするための問診項目の作成. 長崎作業療法研究 5(1): 3-6, 2010
7. 岩永竜一郎, 松坂哲應, 本山和徳, 十枝はるか: 3歳児健診用S-JMAPの発達障害リスク児のスクリーニング精度. 感覚統合研究 13(1): 19-23, 2010
8. 徳永瑛子, 岩永竜一郎, 太田篤志: JSI-R (日本感覚インベントリー) の学齢児データの因子分析. 感覚統合研究 13(1): 35-44, 2010
9. 山田真季, 大久保篤史, 村田 潤, 田平隆行: 聴覚刺激による運動のペースコントロールが脳内運動準備活動に及ぼす影響. 日本作業療法研究会雑誌 12 (2) : 13-18, 2010
10. 溝田勝彦, 村田 伸, 堀江 淳, 村田 潤, 大田尾 浩: 高齢者の主観的経済状況感とQOLとの関係 地域在住女性高齢者を対象として. 健康支援 12 (1) : 9-15, 2010
11. 堀江 淳, 村田 伸, 村田 潤, 大田尾 浩, 溝田勝彦, 宮崎純哉, 林 真一郎, 堀川悦夫: 地域在住女性高齢者における呼吸筋力が呼吸機能, 身体機能, 歩行能力に及ぼす影響. 健康支援 12 (1) : 17-21, 2010
12. 村田 伸, 大田尾 浩, 村田 潤, 堀江 淳, 宮崎純弥, 山崎先也, 溝田勝彦: 地域在住高齢者の上体起こしの可否と身体および心理機能との関連. 理学療法科学25 (1) : 115-119, 2010
13. 池田 望, 村田 伸, 大田尾 浩, 甲斐義浩, 村田 潤, 富永浩一, 溝田勝彦: 高齢者に行う握力測定の意義. 西九州リハビリテーション研究 3 : 23-26, 2010
14. 村田 伸, 山崎先也, 村田 潤, 大田尾 浩, 大山美智江: 虚弱高齢者でも安全に行える簡易下肢・体幹トレーニング法の開発. デサントスポーツ科学 31 : 116-124, 2010
15. 大田尾 浩, 村田 伸, 村田 潤, 中村正造, 溝上昭宏, 小野武也, 川上照彦: 脳卒中片麻痺患者の下肢荷重力と下肢筋力および座位保持能力との関連. 理学療法科学25 (3) : 427-430, 2010
16. 村田 伸, 大田尾 浩, 村田 潤, 堀江 淳, 鬼塚美佳, 横山智子, 原広光: 虚弱高齢者用10秒椅子立ち上がりテスト(Frail CS-10)の有用性の検討. 理学療法科学25 (3) : 431-435, 2010
17. 安田直史, 村田 伸, 村田 潤: 軽度要介護後期高齢者女性の手指運動機能と手指筋力・感覚・反応時間との関連. 理学療法科学25 (3) : 469-472, 2010
18. 村田 伸, 村田 潤, 堀江 淳, 溝田勝彦: 高齢者におけるTrail Making Test 施行時の脳循環動態について. 理学療法ジャーナル44 (8) : 717-720, 2010
19. 村田 伸, 大田尾 浩, 村田 潤, 堀江 淳, 八木原幸子, 甲斐健一郎, 大塚 真: 虚弱高齢者におけるTimed Up and Go Test, 歩行速度, 下肢機能との関連. 理学療法科学 25 (4) : 513-516, 2010
20. 古後晴基, 村田 伸, 村田 潤, 仲村匡平: ホットパックの乾熱法と湿熱法の違いが筋硬度に及ぼす効果. 理学療法科学25 (4) : 631-634, 2010
21. 村田 伸, 大田尾 浩, 村田 潤, 堀江 淳: 要介護高齢者の簡易下肢機能評価法に関する研究座位での下肢荷重力と大腿四頭筋筋力との比較. 日本在宅ケア学会誌14 (1) : 57-63, 2010
22. 江崎千恵, 村田 伸, 宮崎純弥, 堀江 淳, 村田 潤, 大田尾 浩: 地域在住高齢者の大腿周径および大腿四頭筋筋厚と大腿四頭筋筋力との関連. 理学療法科学25 (5) : 673-676, 2010
23. 村田 伸, 江崎千恵, 宮崎純弥, 堀江 淳, 村田 潤, 大田尾 浩: 女性高齢者の大腿部の形態と運動機能との関連. 理学療法科学25 (6) : 939-942, 2010
24. 村田 伸, 大田尾 浩, 村田 潤, 堀江 淳, 中島嘉彦, 川本武志, 大塚 真: 要介護高齢者における座位での下肢荷重力測定の有用性大腿四頭筋筋力との比較. 健康支援12 (2) : 9-15, 2010
25. 磯 直樹, 内村ふみ子, 谷口弥生, 田中浩二, 田平隆行: 協会版認知症タイプ分類別にみた集団作業の影響—回復期リハビリテーション病棟において—. 長崎作業療法研究 5(1): 7-14, 2010
26. 中村勇輔, 窪田伸一郎, 江崎香織, 佐賀里昭, 田平隆行: 高次脳機能障害者とその家族の障害認識の相違について. 長崎作業療法研究 5(1): 15-19, 2010
27. 佐賀里昭, 田平隆行, 長谷川隆史, 磯 直樹, 田中浩二, 船瀬広三: 複雑動作や疑似動作の動作観察が皮質運動関連領域に及ぼす影響. 日本作業療法研究会雑誌 13(1): 17-22, 2010

B-b

1. 長尾哲男「共に生きる」ための作業療法—恋愛・結婚・出産・育児・性の支援「作業療法士への教育」卒前教育(学校教育). 作業療法ジャーナル 44: 720-723, 2010
2. 横山真吾, 本田祐一郎, 近藤康隆, 片岡英樹, 坂本淳哉, 中野治郎, 沖田 実, 吉村俊朗: 関節不動によるラットヒラメ筋のコラーゲンタイプの変化が足関節可動域に与える影響. 理学療法学 37 Supplement (2) DVD: 511,2010★
3. 片岡英樹, 吉村俊朗, 中野治郎, 坂本淳哉, 吉田奈央, 沖田 実: 高血糖が不動に伴うラットヒラメ筋筋線維の廃用性変化におよぼす影響. 理学療法の医学的基礎 14(1): 25, 2010★
4. 小菅浩史, 小篠史郎, 野村恵子, 吉村俊朗, 本村政勝, 埜中征哉, 木村重美: 抗AChR抗体陽性を示した先天性ミオパチーの1歳11ヵ月男児例. 日本小児科学会雑誌114 (3): 596, 2010

5. 中嶋秀樹, 立石洋平, 中田るか, 栢田智子, 六倉和生, 坂井無二子, 徳田昌紘, 福田 卓, 佐藤克也, 辻野 彰, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美: 大動脈弁ストランドを伴った脳梗塞の1例. 臨床神経学 50(5):353,2010
6. 中田るか, 中嶋秀樹, 栢田智子, 六倉和生, 坂井無二子, 徳田昌紘, 立石洋平, 福田 卓, 中村英樹, 辻野 彰, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 林 徳真吉, 高橋利幸, 江口勝美: HAMとの鑑別が困難だったアクアポリン4抗体陽性脊髄炎の1例. 臨床神経学 50(7):525,2010
7. 本村政勝, 吉村俊朗: 【シナプス形態・機能・病態】シナプスの病態 重症筋無力症 (解説/特集). Clinical Neuroscience 28(8):931-933,2010
8. 中嶋秀樹, 中田るか, 栢田智子, 立石洋平, 六倉和生, 徳田昌紘, 福田 卓, 佐藤克也, 辻野 彰, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美: 脊髄神経に著明なびまん性肥厚を認めた慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー(CIDP)の1例. 臨床神経学 50(9):674,2010
9. 磯本恵理子, 渋谷亜矢子, 木下郁夫, 大坪まゆみ, 本村政勝, 吉村俊朗: 痙性対麻痺の精査中に偶然発見された筋サルコイドーシスの一例. 臨床神経学 50(9):680,2010
10. 中田るか, 福田 卓, 中嶋秀樹, 栢田智子, 徳田昌紘, 立石洋平, 辻野 彰, 本村政勝, 安東恒史, 宮崎泰司, 中村龍文, 吉村俊朗, 柴山弘司: 原因不明の脳脊髄炎が先行した成人T細胞白血病(ATL)の1例. 臨床神経学 50(9):682,2010
11. 植田友貴, 東嶋美佐子: 福祉用具, 両上肢麻痺患者さんの食事動作の自立~PSB と自助具~. 難病と在宅ケア 15 (12) : 59-62, 2010
12. 小野慎二, 今村 明, 中根秀之: Brian Science 精神疾患のコピー数解析. 精神科 17(1), pp67-71, 2010
13. 越本莉香, 野畑宏之, 鬼塚美美, 一ノ瀬仁志, 千葉洋介, 木下裕久, 井上統夫, 今村 明, 小澤寛樹, 中根秀之: 長崎大学病院性同一性障害専門外来における心理検査結果に関する1考察. 九州神経精神医 56巻1号: 34, 2010
14. 立石 洋, 楯林英晴, 徳永 剛, 宮本祐一, 池田秀夫, 松永啓介, 中根秀之, 山田茂人: 佐賀県のプライマリケア医のうつ病治療に関するアンケート調査. 九州神経精神医学 56巻1号: 23-24, 2010
15. 越本莉香, 金 賢, 中根秀之, 木下裕久, 西原浩司, SuMoon Deok, 大津留晶, BahnGeonho, 小澤寛樹: 在韓被爆者の精神健康に関する疫学的調査研究ソウル市、テグ市にて行った大規模調査より. 日本社会精神医学会雑誌 19巻1号:97, 2010
16. 中根秀之, 吉岡久美子, 中根允文: 精神科医の社会への関わり 診察室の外で精神科医に求められていることメンタル・ヘルス・リテラシー研究から考えるアンチスティグマ活動の戦略. 精神神経学雑誌 2010特別: S-409, 2010
17. 越本莉香, 西原浩司, 金 賢, 中根秀之, 木下裕久, MoonDeokSu, 大津留晶, BahnGeonho, 小澤寛樹: 原爆被爆が在韓被爆者の精神健康に与えた影響に関する一考察 ソウル市、テグ市にて行った大規模調査より. 精神神経学雑誌 2010 特別: S-313 2010
18. 中根秀之, 木下裕久, 千葉洋介, 一ノ瀬仁志: 顔動画像解析による精神疾患評価システムの開発. 精神神経学雑誌 2010 特別: ppS-307, 2010
19. 一ノ瀬仁志, 中根允文, 中根秀之, 木下裕久, 太田保之, 本田純久, 小澤寛樹: 長崎統合失調症研究 統合失調症の超長期の転帰(28年後転帰)とDUP(精神病未治療期間)との関連. 精神神経学雑誌 2010特別: S-179, 2010
20. 岩永竜一郎: 感覚調整障害は年齢が上がると変化するのか. アスペハート 24: 66-69, 2010
21. 岩永竜一郎: 不器用な子どもへの学校での文具の工夫. アスペハート 25: 90-93, 2010
22. 岩永竜一郎: 感覚過敏と不安. アスペハート 26 : 86-89, 2010
23. 岩永竜一郎: 感覚統合の視点~巡回相談における支援~. 感覚統合研究13: 3-9, 2010
24. 岩永竜一郎: 青年期・成人期における発達障害者支援とその課題. 長崎純心大学心理教育相談センター紀要9: 24-30, 2010

B-c

1. 東嶋美佐子: 摂食・嚥下障害に対する治療法. 作業療法士の役割-活動を用いた機能訓練. 作業療法士の役割-高次脳機能障害に対する訓練. 認知症に伴う摂食・嚥下障害への対応. (東嶋美佐子(編)): 摂食・嚥下障害への作業療法アプローチ, 医歯薬出版, 東京, pp.69-85, pp.93-102, pp.122-130, pp.241-251 (所収) 2010
2. 中根允文, 吉岡久美子, 中根秀之: 心のバリアフリーを目指して-日本人にとってのうつ病, 統合失調症-, 2010
3. 中根秀之: 精神科診療データブック(松下正明, 浅井昌弘, 中根允文, 笠井清登: 精神科診療データブック, 中山書店, 東京, pp138-170)2010
4. 中根秀之: 9. 早期介入促進のためのコミュニティーのメンタル・ヘルス・リテラシーの改善(早期精神病の評価と介入, 医学書院, 東京)2010
5. 岩永竜一郎: 自閉症スペクトラムの子どもへの感覚・運動アプローチ入門, 東京書籍, 東京, 2010
6. 岩永竜一郎: 感覚過敏って何だろう?, アスペルデの会, 名古屋, 2010
7. 岩永竜一郎: 情緒・社会性の発達と障害. (大城昌平編: リハビリテーションのための人間発達学, メディカルプレス, 東京, pp201-218 所収) 2010

8. 岩永竜一郎：小学校・作業療法士の役割を中心に（三浦香織編：作業療法マニュアル40特別支援教育の作業療法士，日本作業療法士協会，東京，pp23-28）2010
9. 岩永竜一郎：広汎性発達障害の作業療法の根拠とそれに基づく実践（事例研究）（辛島千恵子編：広汎性発達障害の作業療法，三輪書店，pp47-68, pp135-138, pp151-153, pp158-165，東京）2010
10. 神田橋條治,岩永竜一郎,愛甲修子,藤家寛子：発達障害は治りますか？，花風社，東京，2010
11. 岩永竜一郎：DVD 感覚統合第1巻「感覚処理障害とは」，新宿スタジオ，東京，2010
12. 岩永竜一郎：DVD 感覚統合第2巻「感覚統合療法」，新宿スタジオ，東京，2010
13. 岩永竜一郎：DVD 感覚統合第3巻「支援の現場から1」，新宿スタジオ，東京，2010
14. 岩永竜一郎：DVD 感覚統合第4巻「支援の現場から2」，新宿スタジオ，東京，2010
15. 田平隆行：うつ・閉じこもり・認知症予防事業（作業療法マニュアル39，認知症高齢者の作業療法の実際，日本作業療法士協会，東京，pp50-52，所収）2010

B-d

1. 吉村俊朗：食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発に関する研究平成21～23年度総合研究報告書 平成21年度総括・分担研究報告書（平成21年度厚生労働科学研究費補助金）：p.49-58，2010
2. 中根秀之：長崎県における自殺の現状とその対策(メンタルヘルス研究協議会,平成21年度報告書,pp165-168)
3. 中根秀之：あなたが大切-自殺について考える-精神科医療の立場から(第35回日精協精神医学会抄録集,pp91-92)
4. ムハマド イクバル, 瀧川真也, 菊池泰樹, 西 晃央：Buffon の針問題について—曲針の場合も含めて. 佐賀大学実践教科研究 第26号：77-80, 2010

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2010	10	3	0	0	13	9	27	24	15	4	70	83

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2010	0	0	14	14	7	8	31	46	60

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2010	0.157	1.3	0.692	0.9

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2010	12.777	1.278	1.42